

文化圏

は、誘われるように歩く少年やゾウなどの輪郭線が太く、絵が浮き上がって見える。宮沢賢治の作品を基にした近作も。

◇私たちの仕事展 1日、熊本市中央区の崇城大ギャラリーで始まった＝写真。崇城大芸術学部の初の教員展。来年8月まで教員14人が交代で作品を展示し、自身の仕事を紹介する。第1弾は、教会の壁などに



描かれるフレスコ画が専門の有田巧教授(64)。29日まで、1998年以降の作品29点が並ぶ。多くは、素朴で洗練されていない少年の世界を描いている。500号の大作「森へ」